

令和 2 年度

自己評価結果公表シート

天王学園幼稚園

1、本園の教育目標

丈夫な体とたくましい心を養うため、年間を通じてのプール指導と幼児体育に力を注ぎ、元気で明るくのびのびとした子どもを育てることが第一の目標です。

幼児期における集団生活の中で、素直で思いやりのある子どもに育ち、また絵本やお話に親しみをもって、愛情豊かな人間性を培うことに努めております。

そして、しつけ教育にも力を入れ、礼儀正しく、はじめのある子どもの育成にも力を入れており、子ども一人ひとりのよさを認め、励まし・褒める教育を目指しております。

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

幼稚園の危機管理マニュアルを見直し、教職員への周知の徹底を図り、対応と予防を心掛ける。

また、教職員の教育の質を高め、子ども達により良い教育を提供できるよう積極的に園内研修や外部の研修に取り組む。

3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
幼稚園の教育課程の編成・実施に関して、教職員間の共通理解をはかる。	幼稚園教育要領の理解を全教職員で、積極的に推進し、それを現実の保育に添わせるように、具体的な場面について話し合いを行っている。
幼稚園の状況をふまえて、中・長期的なビジョンと計画を策定する。	幼稚園に求められる社会的なニーズも変化してきている。こうした背景を踏まえて、本園がこれから長期的にどのような社会ニーズに答える必要があるか、具体的に検討を始めている。
教育の質の向上のために、園内研修を充実させる。	幼児の発達の姿をとらえるための研修を定期的実施するとともに、日々の子どもの姿について話し合う機会を毎日の職員会でもつようにし、自由闊達に意見が開示できるよう環境をつくっている。
保護者のニーズの把握につとめ、要望や苦情に適切な対応をはかる。	保護者との懇談会を定期的実施する。出された意見に対して、必要なものについては園の考え方を示し、改善すべきものは改善するように取り組みつつある。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

取り組むべき課題について、全職員の研修等で意見交換の出来る場を設け、その課題について職員全員で理解をし、取組状況を話し合う事で、本園としての方針を明確にすることができ、それを実践する礎とすることが出来た。

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
特別支援教育	カウンセラーにクラスを巡回してもらい、保護者の気持ちに寄り添い、教育委員会や小学校との連携を取っていく。
園に対する保護者の満足度の把握	建学の精神に則った、私学の独自性に充分配慮しつつ、子育て中の保護者が期待する幼稚園像を把握し、現代社会において求められる幼稚園の姿を確認することで、本園のビジョンを策定する基礎としたい。
食育の重視	保育の中に食育指導を取り入れ、食事を作ることの楽しみ、食べる喜びを満喫し、食についての知識をたくさん知り、日本の文化の基本を大切にして幼児期に食を多様に体験してもらえよう力を入れていきたい。

6、学校関係者の評価

特に指摘すべき事項はなく、妥当であると、認められている。

7、財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。